

令和5年度誠恵学院事業実績報告書

1 法人の概要

(1) 設置する学校

誠恵高等学校 普通科

(2) 役員の概要

理事、監事、評議員で構成

教員（常勤） 37名 教員(非常勤) 12名 事務員等 7名

2 事業の概要

(1) 誠恵高等学校の運営

ア 全般

令和5年度は、鈴木珠美新校長の下、学校体制を大幅に刷新して業務を8つの分掌に大別し、それぞれの課長にベテランの教員を抜擢しました。また、新型コロナウイルスの5類感染症への分類変更を受けて、学校活動を復興させるため、「SEIKI PRIDE」のスローガンを掲げ、教員の資質向上を図るとともに、生徒が学校を楽しみ、目的をもって通学できるよう、各種インフラの整備及び学校行事の充実に注力しました。

イ 学校行事

昨年度は中止となった教育講演会を実施したほか、誠恵祭文化の部（文化祭）を2日間にわたって開催しました。また、希望者を対象とした福祉ネイル講座を実施しました。

ウ 進路

昨年度に引き続き、多数の進学希望者が大学・短大及び専門学校等に進学しました。また、就職希望者は、早期から就職先の開拓、就職指導等により全員が就職できました。

エ 部活動等

運動部は、昨年に引き続き、各種大会に参加し、陸上競技部が東部大会において複数名を入賞させ、県大会に進出しました。また、野球部は春季東部大会を勝ち抜き県大会で1回戦を初めて勝利しました。

文化部では、静岡県高等学校美術工芸東部展に昨年同様多数の作品を出展し、県展にも3作品、全国展にも1作品選出されました。また、3年生の西島さんが制作した作品が、二科展において県内陶芸作品で唯一入賞しました。

オ 教員の資質向上

年間数回の校内研修を行うとともに、校外研修にも積極的に参加させるなど教員の資質向上に努めました。中でも、年度初めに非常勤講師を含む全教員を参加させて「生徒理解研修」を開催し、生徒指導・教育相談活動に関して全教員が同一歩調で臨めるようになりました。

(2) 防災訓練

9月に全生徒・教職員を対象に、防災訓練計画に従い避難訓練を実施して、施設の機能確認を行いました。また、1月には部外講師を招いて火災防災講座を行いました。

(3) 管理的事項

ア 職員室のOAフロア化に伴い、端末整備及び電話機の増加配置をしました。

イ 1年生の教室に大型のネットワークテレビを配置しました。

ウ 老朽化により陶芸用の電気窯を更新購入しました。

エ 食堂の委託業者を8月に変更しました。

オ 体育館2階天井設置の大型スクリーンを老朽化のため撤去しました。

カ 水道技術管理者の退職により、専用水道の管理を外注委託にしました。